



チベット絵画に関するAPU特別講演

チベット民族絵画の歴史と発展

APU孔子学院は2006年に中国の孔子学院本部との協議により2007年に開設されました。協議書締結から十周年を迎えた今年、APU孔子学院では中国の中央文史研究館から著名な学者代表団を招待し、APUで特別講演を行うことになりました。
この貴重な機会に皆さんぜひ、RCAPS会議室まで足をお運びください。

2016年10月25日(火) 5限 (16:05～17:40)

立命館アジア太平洋大学 B棟 2階
RCAPS研究会議室

※言語は中国語(日本語逐語訳)となります。
※直接会場へお越しください(事前申込み不要)

入場
無料



講演者 NIMAZAREN(尼玛泽仁)氏

1944年生まれ、72歳。チベット族。四川省巴塘出身。四川美術学院卒業。第九期、第十期、第十一期、第十二期全国政治協商會議委員、パンチェン絵師、中国中央文史研究館館員。第六期中国美術家協会副主席、第七期、第八期中国美術家協会顧問。中国国家画院研究員、同画院顧問、中国中央文史館書画院委員、中国画学会副会長、中国少数民族美術促進会会長、国家一级美術師、四川省文史研究館副館長、國務院の特別補助対象専門家。2012年ロンドンオリンピック美術大会芸術指導委員会総顧問。

主催 立命館アジア太平洋大学孔子学院
お問合せ 立命館アジア太平洋大学孔子学院事務局

Tel. 0977-78-1188 Fax. 0977-78-1189 E-mail confucius@apu.ac.jp
ホームページ <http://apu-confucius.com/>

中国中央文史研究館と 代表団メンバーの紹介

中国中央 文史研究館とは

中国中央文史研究館は1951年7月に毛沢東主席の提案により設立された。それより2年前の1949年11月に毛沢東、周恩来らの革命家により国務院(日本の内閣に相当)直属の機構として国務院参事室が設置されており、両者はその後合同で事務を執り行っている。管下に中央文史館書画院、中華書画家雑誌社、中国国学中心、中華詩詞研究院などがある。

中央文史研究館の主たる仕事は古い文献を大切に取り扱い、歴史研究を国政への助言に役立て、統一戦線(注:中国共産党と民主諸党派による共同戦線)と各党親睦の強化を図ることとされる。館員はすべて国務院総理が直接招聘する。設立以来招聘された館員は計304名、現在の館員は59名。館員の多くは民主諸党派の構成員ならびに無党派の人士である。

袁行霈 YUAN Xingpei えん・こうはい

1936年生まれ、80歳。江蘇省武進出身。中国民主同盟党員。北京大学国学研究院院長、中文系教授、博士課程指導教員、国務院(内閣)学位委員会委員。かつて中国民主同盟の副主席、中国中央文史研究館副館長を歴任。2006年1月から中国中央文史館館長。第八期、第九期全国政治協商会議常務委員、第十期全国人民代表大会常務委員。

尼玛泽仁 ニマザーレン

表に記載のとおり。

劉大鈞 LIU Dajun りゅう・だいきん

1943年生まれ、73歳。山東省鄒平出身。中国中央文史館館員。中国周易学会会長、全国政治協商会議委員、教育部の人文科学重点研究基地山東大学中国古代哲学研究センター主任、山東大学テニュア教授、博士課程指導教員、『周易研究』の主編者。

長年にわたって易学の研究に携わり、象数易学(しょうすうえきがく)の研究に精通、易学に関する多くの重大な疑問に対して重要な見解を發表し、象数易(天地自然の法則に関する易)と義理易(ぎりえき、倫理哲学に関する易)を同時研究する手法を確立した。

著書に『周易概論』、『周易古経白話解』、『周易伝文白話解』、『周易講座』、『納甲筮法』、『今、帛、竹書「周易」綜考』など。

許文継 XU Wenji きよ・ぶんけい

国務院参事室文史業務司副司長

付蔷 FU Qiang ふ・しょう

国務院参事室弁公室幹部